

## 資料1 海外からの研究者の招致

(実施期間中、事業推進担当者が受入れた海外からの研究者  
経費はCOE経費または科研費による)

平成15年度

[1] 氏名：村瀬 元彦

所属機関：California 大学 Davis 校・教授

国：アメリカ

招致期間：2003年9月1日～2003年9月30日（30日間）

目的：研究打合せおよび講演

[2] 氏名：川平 友規

所属機関：Henri Poincare 研究所・研究員

国：フランス

招致期間：2003年10月29日～2003年11月5日（8日間）

目的：談話会出席および研究打合せ

[3] 氏名：奥山 和美

所属機関：Chicago 大学 Fermi 研究所・研究員

国：アメリカ

招致期間：2003年11月8日～2003年11月13日（6日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[4] 氏名：Pavle Pandzic

所属機関：Zagreb 大学・助教授（京都大学数理解析研究所・招聘外国人学者）

国：アメリカ

招致期間：2003年11月10日～2003年11月13日（4日間）

目的：COE 国際シンポジウム参加および研究打合せ

[5] 氏名：Marie-France Vignerat

所属機関：Paris 7 大学・教授

国：フランス

招致期間：2003年11月8日～2003年12月9日（32日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[6] 氏名：Urs Adrian Frauenfelder

所属機関：Swiss 連邦大学・研究員（北海道大学・ポスドクフェロー）

国：スイス

招致期間：2004年2月7日～2004年2月10日（4日間）

目的：研究集会参加および研究打合せ

[7] 氏名：Jing-Song Huang

所属機関：香港科技大学・教授

国：中国

招致期間：2004年2月19日～2004年2月25日（7日間）

目的：研究打合せ

[8] 氏名：Hyo Chul Myung

所属機関：韓国高等科学院・教授

国：韓国

招致期間：2004年2月26日～2004年2月27日（2日間）

目的：研究打合せ

[9] 氏名：Changho Keem

所属機関：Seoul 国立大学・教授

国：韓国

招致期間：2003年8月3日～2003年8月9日（7日間）

目的：代数学シンポジウム参加

[10] 氏名：David Cox

所属機関：Amherst 大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2003年9月5日～2004年9月13日（9日間）

目的：国際研究集会参加

- [11] 氏名 : Grigory Mikhalkin  
所属機関 : Utah 大学・助教授  
国 : アメリカ  
招致期間 : 2003 年 9 月 3 日～2003 年 9 月 17 日 (15 日間)  
目的 : 国際研究集会参加
- [12] 氏名 : Keum Jonghae  
所属機関 : 韓国高等科学院・教授  
国 : 韓国  
招致期間 : 2003 年 10 月 20 日～2003 年 10 月 30 日 (11 日間)  
目的 : 代数幾何学シンポジウム参加
- [13] 氏名 : Aleksandra V. Domrina  
所属機関 : Moscow 大学・助手  
国 : ロシア  
招致期間 : 2003 年 10 月 17 日～2003 年 11 月 1 日 (16 日間)  
目的 : 複素幾何学ワークショップ講演および共同研究
- [14] 氏名 : Andrey V. Domrin  
所属機関 : Moscow 大学・助教授  
国 : ロシア  
招致期間 : 2003 年 10 月 17 日～2003 年 11 月 1 日 (16 日間)  
目的 : 複素幾何学ワークショップ講演および共同研究
- [15] 氏名 : Sergeev Armen Glebovich  
所属機関 : モスクワ大学・教授  
国 : ロシア  
招致期間 : 2003 年 10 月 2 日～2003 年 11 月 18 日 (34 日間)  
目的 : 複素幾何学ワークショップ講演および共同研究
- [16] 氏名 : Haisheng Li  
所属機関 : Rutgers 大学・準教授  
国 : アメリカ

招致期間：2004年1月5日～2004年1月17日（13日間）  
目的：共同研究

[17] 氏名：Jimmy Peteam

所属機関：CIMAT・正研究員

国：メキシコ

招致期間：2003年11月30日～2003年12月12日（13日間）

目的：研究集会参加および研究連絡

[18] 氏名：Oliver Biquard

所属機関：Strasbourg 大学・教授

国：フランス

招致期間：2003年12月1日～2003年12月7日（7日間）

目的：研究集会参加および研究連絡

[19] 氏名：Lutz Habermann

所属機関：Greifswald 大学・助教授

国：ドイツ

招致期間：2003年11月30日～2003年12月10日（11日間）

目的：研究集会参加および研究連絡

[20] 氏名：Cedric Bonnafé

所属機関：Besançon 大学・研究員

国：フランス

招致期間：2003年6月4日～2003年6月29日（26日間）

目的：共同研究

[21] 氏名：Jiachen Ye

所属機関：Tonji 大学・教授

国：中国

招致期間：2003年11月17日～2003年11月21日（5日間）

目的：国際会議参加および共同研究

[22] 氏名 : Karine Sorlin

所属機関 : 日本学術振興会・外国人特別研究員

国 : フランス

招致期間 : 2002 年 11 月 3 日～2003 年 12 月 31 日 (424 日間)

目的 : 共同研究

[23] 氏名 : John Enyang

所属機関 : 日本学術振興会・外国人特別研究員

国 : オーストラリア

招致期間 : 2002 年 8 月 21 日～2004 年 8 月 20 日 (730 日間)

目的 : 共同研究

[24] 氏名 : Pierre Colmez

所属機関 : Paris 6 大学・教授

国 : フランス

招致期間 : 2003 年 3 月 25 日～2003 年 4 月 23 日 (30 日間)

目的 : ワークショップ参加および共同研究

[25] 氏名 : J.A.Wolf

所属機関 : California 大学 Berkeley 校・教授

国 : アメリカ

招致期間 : 2003 年 10 月 19 日～2003 年 11 月 9 日 (22 日間)

目的 : ワークショップ参加および共同研究

[26] 氏名 : Raphael Rouquier

所属機関 : CNRS and ParisVII・教授

国 : フランス

招致期間 : 2004 年 2 月 10 日～2004 年 2 月 10 日 (1 日)

目的 : セミナーにて講演

[27] 氏名 : Nanhua Xi

所属機関 : Chinese Academy of Sciences・教授

国 : 中国

招致期間：2004年1月27日～2004年1月27日（1日）

目的：セミナーにて講演

[28] 氏名：Hebing Rui

所属機関：East China Normal University, Shanghai・教授

国：中国

招致期間：2003年12月16日～2003年12月16日（1日）

目的：セミナーにて講演

平成16年度

[1] 氏名：Benjamin Steiner

所属機関：Paris 7 大学・博士後期課程

国：フランス

招致期間：2004年4月14日～2004年6月17日（65日間）

目的：研究打合せ

[2] 氏名：J. Tilouine

所属機関：Paris 13 大学・教授

国：フランス

招致期間：2004年8月1日～2004年8月30日（30日間）

目的：研究打合せおよび講演

[3] 氏名：Pol Carlos Vanhaecke

所属機関：Poitiers 大学・教授

国：フランス

招致期間：2004年12月8日～2004年12月17日（10日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[4] 氏名：Steve Zelditch

所属機関：ジョンズ・ホプキンス大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2003年11月10日～2003年11月13日（4日間）  
目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[5] 氏名：Andrey Marshakov

所属機関：Lebedev 物理理論実験研究所・教授

国：ロシア

招致期間：2004年12月6日～2004年12月16日（11日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[6] 氏名：Andrei Okounkov

所属機関：Princeton 大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2004年12月4日～2004年12月12日（9日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[7] 氏名：Jian Zhou

所属機関：Tsinghua 大学・教授

国：中国

招致期間：2004年12月7日～2004年12月12日（6日間）

目的：COE 国際シンポジウム講演および研究打合せ

[8] 氏名：Alejandro Uribe

所属機関：Michigan 大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2004年12月9日～2004年12月17日（9日間）

目的：国際シンポジウム参加および研究打合せ

[9] 氏名：原田芽ぐみ

所属機関：Tronto 大学・博士後期課程

国：カナダ

招致期間：2004年12月11日～2004年12月21日（11日間）

目的：国際シンポジウム参加および研究打合せ

- [10] 氏名 : Anda Degeratu  
所属機関 : Duke 大学・助教授  
国 : アメリカ  
招致期間 : 2004 年 12 月 11 日～2004 年 12 月 28 日 (18 日間)  
目的 : 国際シンポジウム講演および研究打合せ
- [11] 氏名 : 佐藤文敏  
所属機関 : Utah 大学・博士後期課程  
国 : アメリカ  
招致期間 : 2004 年 12 月 16 日～2005 年 1 月 4 日 (20 日間)  
目的 : 国際シンポジウム参加および研究打合せ
- [12] 氏名 : Aris Daniilidis  
所属機関 : Barcelona 大学・助手  
国 : スペイン  
招致期間 : 2004 年 11 月 17 日～2004 年 11 月 28 日 (12 日間)  
目的 : 共同研究
- [13] 氏名 : Shabnam Kadir  
所属機関 : Fields 研究所 (Tronto 大学)・研究員  
国 : カナダ  
招致期間 : 2004 年 12 月 15 日～2004 年 12 月 22 日 (8 日間)  
目的 : 国際シンポジウム参加および研究連絡
- [14] 氏名 : A. T. Huckleberry  
所属機関 : Bochum 大学・教授  
国 : ドイツ  
招致期間 : 2005 年 2 月 13 日～2005 年 2 月 17 日 (5 日間)  
目的 : 国際研究集会参加
- [15] 氏名 : Jaehyun Hong  
所属機関 : Seoul 国立大学・研究員  
国 : 韓国



招致期間：2005年2月13日～2005年2月17日（5日間）  
目的：国際研究集会参加

[16] 氏名：Su-Jen Kan

所属機関：台湾科学院・特別研究員

国：中国

招致期間：2005年2月13日～2005年3月15日（31日間）

目的：国際研究集会参加および研究連絡

[17] 氏名：Pierre Cartier

所属機関：フランス科学高等学院・教授

国：フランス

招致期間：2005年2月16日～2005年3月15日（28日間）

目的：連続講演および研究打合せ

[18] 氏名：Jin-Song Huang

所属機関：香港大学・教授

国：中国

招致期間：2004年4月7日～2004年4月12日（6日間）

目的：研究連絡

[19] 氏名：Igor Dolgachev

所属機関：Michigan 大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2004年6月2日～2004年6月11日（10日間）

目的：研究連絡

[20] 氏名：Miller Andrea

所属機関：Heidelberg 大学・助手

国：ドイツ

招致期間：2004年9月6日～2004年9月15日（10日間）

目的：国際研究集会参加および研究連絡

[21] 氏名 : Philip Boalch

所属機関 : 国立科学研究所・助手

国 : フランス

招致期間 : 2004 年 11 月 30 日～2004 年 12 月 12 日 (13 日間)

目的 : 国際研究集会参加講演および研究連絡

[22] 氏名 : Jean-Pierre Ramis

所属機関 : Toulouse 3 大学・教授

国 : フランス

招致期間 : 2004 年 12 月 1 日～2004 年 12 月 9 日 (9 日間)

目的 : 研究集会参加講演および研究連絡

[23] 氏名 : Viacheslav Nikulin

所属機関 : Liverpool 大学・教授

国 : イギリス

招致期間 : 2004 年 12 月 23 日～2005 年 1 月 12 日 (21 日間)

目的 : 共同研究

[24] 氏名 : Bhama Srinivasan

所属機関 : Illinois 大学・教授

国 : アメリカ

招致期間 : 2004 年 12 月 11 日～2004 年 12 月 22 日 (12 日間)

目的 : 国際研究集会参加および共同研究

[25] 氏名 : Donald. R. King

所属機関 : North Eastern 大学・教授

国 : アメリカ

招致期間 : 2004 年 9 月 3 日～2004 年 9 月 12 日 (10 日間)

目的 : 研究集会参加および研究連絡

[26] 氏名 : Tomasz Przebinda

所属機関 : Oklahoma 大学・教授

国 : アメリカ

招致期間：2004年9月3日～2004年9月11日（9日間）

目的：研究集会参加および研究連絡

[27] 氏名：Claude Le Brun

所属機関：New York 州立大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2004年12月11日～2004年12月17日（7日間）

目的：国際研究集会参加および研究連絡

[28] 氏名：Sai-Kee Yeung

所属機関：Purdue 大学・教授

国：アメリカ

招致期間：2004年12月11日～2004年12月23日（13日間）

目的：国際研究集会参加および研究連絡

[29] 氏名：Tristan Riviere

所属機関：Zulich (ETH)・教授

国：スイス

招致期間：2004年12月10日～2004年12月21日（12日間）

目的：国際研究集会参加および研究連絡

[30] 氏名：森山翔文

所属機関：California 工科大学・研究員

国：アメリカ

招致期間：2005年1月9日～2005年1月19日（11日間）

目的：セミナーにて講演

[31] 氏名：津川光太郎

所属機関：Swiss 連邦工科大学・研究員

国：スイス

招致期間：2005年1月8日～2005年1月16日（9日間）

目的：セミナーにて講演

平成17年度

[1] 氏名：Andreas Langer

所属機関：Exeter 大学・助教授

国：イギリス

招致期間：2005 年 4 月 1 日～2005 年 4 月 20 日（20 日間）

目的：共同研究

[2] 氏名：Daniel Vera

所属機関：Massachusetts 工科大学・博士後期課程

国：アメリカ

招致期間：2005 年 4 月 11 日～2005 年 6 月 15 日（66 日間）

目的：研究打合せ

[3] 氏名：Jan Nekovar

所属機関：Paris 6 大学・教授

国：フランス

招致期間：2005 年 4 月 17 日～2005 年 5 月 6 日（20 日間）

目的：研究打合せ

[4] 氏名：村瀬元彦

所属機関：California 大学 Davis 校・教授

国：アメリカ

招致期間：2005 年 7 月 4 日～2005 年 7 月 19 日（16 日間）

目的：講演および研究打合せ

[5] 氏名：佐藤文敏

所属機関：Utah 大学・研究員

国：アメリカ

招致期間：2005 年 8 月 5 日～2005 年 9 月 26 日（53 日間）

目的：研究打合せおよび研究集会参加

[6] 氏名 : Bessis David

所属機関 : Ecole Normale Supérieure ・ 研究員 (京都大学数理解析研究所)

国 : フランス

招致期間 : 2005 年 4 月 5 日 ~ 2005 年 4 月 5 日 (1 日)

目的 : 研究打合せ

[7] 氏名 : Frank Lubeck

所属機関 : Aachen 大学 ・ 助教授

国 : ドイツ

招致期間 : 2005 年 8 月 31 日 ~ 2005 年 9 月 29 日 (30 日間)

目的 : 研究打合せ

[8] 氏名 : J. William Hoffman

所属機関 : Louisiana 大学 ・ 教授 (京都大学数理解析研究所)

国 : アメリカ

招致期間 : 2005 年 5 月 26 日 ~ 2005 年 5 月 28 日 (3 日間)

目的 : 研究打合せ

[9] 氏名 : Mathew Szczesny

所属機関 : Pennsylvania 大学 ・ 研究員

国 : アメリカ

招致期間 : 2005 年 7 月 24 日 ~ 2005 年 7 月 31 日 (8 日間)

目的 : 研究打合せ

[10] 氏名 : Vladimir Guletskii

所属機関 : Princeton 大学 ・ 研究員

国 : アメリカ

招致期間 : 2005 年 7 月 5 日 ~ 2005 年 7 月 6 日 (2 日間)

目的 : 研究打合せ

## 資料 2 大学院博士後期課程在籍者執筆論文

[15年度]

D3 (1編)

田中祐二 : [1] Y. Tanaka, Half-scaled monopole equations in six dimensions and codimension two rectifiable currents", preprint, 2003

[16年度]

D2 (5編)

川上裕:[1] Yu Kawakami,Ryouichi Kobayashi,Reiko Miyaoka, Lemma on Logarithmic Derivative for the Gauss Map of Algebraic Minimal Surfaces in  $\mathbb{R}^3$ , Proceeding of Integrable Systems Geometry and Visualizaition at Kyusyu university From 80 page to 97 page ,2005

藤井篤之 : [1] S. Fujii, S. Minabe, Instanton Counting on ALE spaces, November 2004, preprint.

三鍋聡司 : [1] S. Minabe, Instanton Counting on simple singularities --- the case of rank 1 ---, September 2004, preprint.

[2] S. Fujii, S. Minabe, Instanton Counting on ALE spaces, November 2004, preprint.

[3] S. Minabe, Notes on Hilbert scheme of points on toric surfaces, November 2004, preprint.

D3 (3編)

中井和香子 : [1] W. Nakai, T.Nakanishi, Paths, tableaux, and  $q$ -characters of quantum affine algebras: type  $C_n$ , preprint, math.QA/0502041

難波正幸: [1] Masayuki Nanba "Bruhat order on the fixed-point subgroup by a Coxeter graph automorphism", Journal of Algebra, Vol.285, pp.470-480

野原雄一:[1] Y.Nohara, Projective Embeddings and Lagrangian fibrations of Abelian varieties, Math. Ann. 333 (2005), 741-757

[17年度]

**D1 (1編)**

中村隆 : [1] Nakamura, Takashi, Bernoulli numbers and multiple zeta values, Proc. Japan Acad. Ser. A Math. Sci. 81 (2005), no. 2, 21--22.

**D2 (2編)**

川上裕:[1] 川上裕、小林亮一、宮岡礼子、 $\mathbb{R}^3$ 内の完備極小曲面のガウス写像の除外値問題 NEVANLINNA 理論, 2005年度幾何学シンポジウム予稿集, pp225--274

[2] Yu Kawakami, On the totally ramified value number of the Gauss map of minimal surfaces, preprint, submitted Proc.Japan.Acad.Ser.A.Math.Sci

[3] Yu Kawakami, Ryoichi Kobayashi and Reiko Miyaoka, The Gauss map of pseudo algebraic minimal surfaces, preprint, mathDG/0511543

[4] 宮岡礼子、小林亮一、川上裕,擬代数極小曲面のガウス写像, 数理解析研究所講究録 (印刷予定)

S. Fujii and S.Minabe, A Combinatorial Study on Quiver Varieties, preprint, arXiv:math.AG/0510455

**D3 (3編)**

中井和香子 : [1] 中井 和香子,ヤング盤と量子アフィン代数の  $q$ -指標, 数理解析研究所講究録 (印刷予定).

[2] 中井 和香子, ヤング盤と量子アフィン代数の  $q$ -指標, 北海道大学数学講究録, pp135--138 (2005).

難波正幸: [1] Masayuki Nanba "The Bruhat ordering on the Coxeter group of type  $C^-$ ", Electronic Journal of Algebraic Combinatorics に投稿、査読を受け現在訂正中。

S. Fujii and S.Minabe, A Combinatorial Study on Quiver Varieties, preprint, arXiv:math.AG/0510455

## 資料3 大学院博士後期課程在籍者講演リスト

[15年度]

D2 (1回)

三鍋聡司

(1) 同変マッカーイ対応, 研究集会 多変数関数論の萌芽的研究, 京都大学, 2003年11月19日

D3 (9回 (国際3回))

難波正幸

(1) Bruhat 順序の MacNeille completion と alternating sign matrix,

第20回代数的組合せ論シンポジウム 一般講演(2003年7月北海道大学)

(岡田聡一助教授(名大多元)との共同発表)

(2) A型 Coxeter 群上の Bruhat order の MacNeille completion と alternating sign matrix, 第9回代数系若手研究集会 一般講演(2004年3月 岡山大学)

田中祐二

(1) Half-Scaled Monopole Equations in Six Dimensions and Codimension Two Rectifiable Currents, 9th International Symposium on Complex Geometry, Sugadaira, Oct. 2003.

(2) Monopole equations in six dimensions and codimension two rectifiable currents ---Energy bounds and monotonicity., Floer Theory and Related Topics, Kyoto, Dec. 2003.

(3) Toward  $DT = GW$  as an analytic equality, Toba Geometry Meeting 2004, Toba, Feb. 2004.

(4) Half-scaled monopole equations in six dimensions, 日本数学会幾何学分科会一般講演, 千葉大学, 千葉, 9月, 2003年.

(5) Half-Scaled Monopole Equations in Six Dimensions and Codimension Two Rectifiable Currents, 福岡微分幾何研究会, 福岡, 1月, 2004年.

中井 和香子

(1) ヤング盤と量子アフィン代数の  $q$ -指標, 数学総合若手研究集会, 北海道大学, 2004年2月.



野原雄一

(1) Abel 多様体の射影埋め込みと Lagrangian fibration, 微分幾何研究集会, 福岡大学セミナーハウス, 2004 年 1 月.

[16 年度]

D2 (12 回 (国際 2 回))

藤井篤之

(1) ALE 空間上のインスタントンの数え上げ, Symmetric Function and Related Topics, 名古屋大学多元数理科学研究科, 2004 年 9 月 13 日~15 日 招待講演

(2) ALE 空間上のインスタントンの数え上げ, インスタントンの数理と物理, AL 名古屋大学多元数理科学研究科, 2005 年 2 月 11 日~13 日 招待講演

(3) ALE 空間上のインスタントンの数え上げ, 第 10 回代数学若手研究集会, 信州大学理学部, 2005 年 3 月 18 日~20 日

(4) ALE 空間上のインスタントンの数え上げ, 日本数学会 2005 年度年会, 日本大学理工学部, 2005 年 3 月 27 日~30 日

三鍋聡司

(1) Enumerative geometry on Hilbert schemes, Summer school on Combinatorics in Groups and Algebras, CIRM, Luminy, France, 2004 年 7 月 14 日

(2) Instanton counting on ALE spaces, String theory seminar,  
Perimeter Institute for Theoretical Physics, Waterloo, Canada, 2005 年 1 月 18 日

(3) Hitchin-Kobayashi correspondence for vector bundles via Simpson's idea,  
Towards intersection and cohomological stability, 国民宿舎虹の松原ホテル (佐賀県唐津市), 2004 年 6 月 4 日

(4) Macdonald 多項式への幾何学的アプローチ, 研究集会組み合わせ論ヤング  
サマーセミナー, 東京大学検見川セミナーハウス (千葉県検見川市), 2004  
年 8 月 13 日

(5) ALE 空間上のインスタントンの数え上げ (その 2), 研究集会 Symmetric  
functions and related topics, 名古屋大学, 2004 年 9 月 14 日

(6) トーリック曲面上のインスタントの数の上げ, 研究集会インスタントの数理と物理, 名古屋大学, 2005年2月12日

(7) ALE 空間上のインスタントの数の上げ, 日本数学会 2005 年度年会幾何学分科会, 日本大学, 2005年3月28日

(8) トーリック曲面上の点のヒルベルト概型について, 日本数学会 2005 年度年会幾何学分科会, 日本大学 2005年3月28日

### D3 (21回 (国際4回))

中井和香子

(1) ヤング盤と量子アフィン代数の  $q$ -指標, 表現論における組合せ論的手法とその応用, 京都大学数理解析研究所, 2004年10月

(2) Paths, tableaux, and  $q$ -characters of quantum affine algebras, 組合せ論的可積分系, 大阪大学, 2005年3月

(3) ヤング盤と量子アフィン代数の  $q$ -指標, 第10回代数学若手研究集会, 信州大学, 2005年3月

(4) ヤング盤による  $q$ -指標の記述, 日本数学会 2005 年度年会, 日本大学, 2005年3月

(5) 量子アフィン代数の  $q$ -指標とヤング盤, 第5回 組合せ論ヤングサマーセミナー, 東京大学検見川セミナーハウス, 2004年8月 (ポスター発表)

難波正幸

(1) 複素鏡映群とその長さ関数, 組合せ論ヤングサマーセミナー2004 (2004年8月東京大学検見川セミナーハウス)

野原雄一

(1) Hilbert-Mumford stability of Kaehler-Einstein manifolds, Towards I and C Stability for Manifolds, 佐賀県唐津, 2004年6月, 招待講演.

(2) Projective embeddings and Lagrangian fibrations of Abelian varieties, 多変数関数論サマーセミナー, 三重県湯の山, 2004年8月, 招待講演.

(3) Projective embeddings and Lagrangian fibrations of Abelian varieties, 幾何学シンポジウム, 東京都立大, 8月, 2004年.

(4) Nearly holomorphic sections on symplectic manifolds, 多変数関数論の萌芽的研

究, 京都大学数理解析研究所, 2004 年 11 月, 招待講演.

(5) Lagrangian fibrations and theta functions, 第 4 回名古屋国際コンファレンス Complex Geometry and String Theory, 名古屋大学, 2004 年 12 月, 国際会議, 招待講演.

(6) Lagrangian fibrations and theta functions, Work shop "Floer homology and related topics 3, 京都大学, 2005 年 1 月, 招待講演.

(7) Lagrangian fibrations and theta functions, 名工大ホモトピー論集会 05-3, 名古屋工業大学, 2005 年 3 月, 招待講演.

(8) Lagrangean fibrations and theta functions, シンポジウムトポロジーとシンプレクティック幾何, 東京大学, 2005 年 3 月, 招待講演.

(9) Lagrangean fibrations and theta functions,  
日本数学会年会, 日本大学, 2005 年 3 月.

田中祐二

(1) Half-Scaled Monopole Equations in Six Dimensions and , Geometrical analysis and its application, Volgograd, Russia, May, 2004.

(2) An adiabatic Donaldson-Thomas instantons on Calabi-Yau 3-folds, 10th International Symposium on Complex Geometry, Sugadaira, Oct. 2004.

(3) An adiabatic construction of  $\Omega$ -ASD connections on Calabi-Yau manifolds, 第 51 回幾何学シンポジウム, 都立大学, 東京, 8 月, 2004 年.

(4) An adiabatic construction of Donaldson-Thomas instantons on Calabi-Yau 3-folds, 多変数関数論の萌芽的研究, 京都大学数理解析研究所, 京都, 11 月, 2004 年.

(5) 高次元ゲージ理論と正則 Casson 不変量, 名工大ホモトピー論集会, 名古屋工業大学, 3 月, 2005 年.

(6) Donaldson-Thomas instantons on Calabi-Yau 3-folds, 部分多様体の幾何学的諸相, 名城大学, 3 月, 2005 年.

[17 年度]

D1 (2 回)

中村隆

(1) Hurwitz-Lerch zeta 関数と関連する話題, 広島整数論集会 2005 年 7 月 20 -

22 日 広島大学

飯島和人

(1) リーマン多様体の局所等長埋め込みのオブストラクションに関する表現論的手法、幾何学シンポジウム, 福岡大学, 2005年8月22日 (講演予定)

## D2 (4回)

三鍋聡司

(1) On certain aspects of string/gauge theory correspondence, 幾何学シンポジウム, 福岡大学, 2005年8月23日

(2) String/gauge 理論対応の幾つかの側面 [招待講演],  
指数定理とその可能性 III, 東京大学玉原国際セミナーハウス  
2005年9月11日, 13日 (3回連続講演)

川上 裕

(1) 完備極小曲面のガウス写像の除外値問題への新しいアプローチ、名古屋大学  
幾何・数理物理セミナー, 名古屋大学, 2005年10月25日

## D3 (2回)

中井和香子

(1) Paths, Tableaux, and q-Characters of Quantum Affine Algebras, FRG Workshop  
"Algebraic Geometry, Symplectic Geometry and Theoretical Physics: a conference  
celebrating the contribution of women researchers" Philadelphia, May, 2005. (ポスター  
発表)

難波正幸

(1) The Bruhat ordering on the Coxeter group of type  $C^{\sim}$ , Formal power series and  
Algebraic combinatorics 2005(国際研究集会) ポスター発表 (2005年6月 イタ  
リア)

21世紀 COE プログラム  
等式が生む数学の新概念  
**Equalities as an Avatar of New Mathematics**  
拠点形成報告書

名古屋大学大学院多元数理科学研究科  
〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/>

2006年1月